

令和7年度第1回 新宿区外部評価委員会第2部会議 事概要

開催概要

開催日：令和7年7月9日（水）

場所：本庁舎3階 302会議室

出席者：

外部評価委員（5名）：山本卓（副会長）、小宮領、藤川裕子、津吹一晴、御所窪和子

区職員（3名）：西澤副参事（特命担当）、奥井主任、西崎主任

議題

1 ヒアリングに向けての準備等について

議事要旨

1 ヒアリングに向けての準備等について

（1）今後の評価の進め方と部会の作業スケジュールについて

【事務局説明】

資料に基づいて説明。

【主な議論・意見】

【事務局】

視察候補として、牛込保健センター仮庁舎・鶴巻南公園の2か所を提示

【部会長】

基本的に視察を実施すると方向で検討するということで良いか。

【委員】

（異論なし）

【委員】

本日の議論を踏まえ、実施するかどうか、及び視察先を検討することとする。

（2）内部評価シートの内容について

【事務局説明】

資料に基づいて説明。

【主な議論・意見】

【委員】

計画事業と経常事業は何により区別されるのか。

【事務局】

経常事業は継続的に進めるものであり、計画事業は年度ごとに計画立てて重点的に取り組むもの。ただし、数値等で機械的に区分されるのではなく、都度判断され、計画事業が経常事業に移行することも、また逆のケースもある。

【委員】

橋の整備や区有施設の長寿命化は終わりのない事業だと思うが、なぜこれが計画事業となっているのか。計画事業としての期間が終わった後に経常事業になる可能性もあるか。

【事務局】

橋や施設などは定期点検の実施に加え、個別の長寿命化修繕計画等を適宜見直し、実行計画の中で緊急度の高いものから計画的に工事を実施するということで計画事業に位置付けていると思われる。ある程度整備が進めば、経常事業になることもあるかもしれない。

【委員】

計画事業と経常事業どちらにするかの判断は担当部署が決めているのか。

【事務局】

担当部署と、総合政策部がすり合わせをしながら決定している。

【委員】

各施設について、すでに指定管理者に関する外部評価などが行われているものがあれば、審議の参考にしたい。

【事務局】

該当する事業があるか確認のうえ、資料があれば提供する。

【委員】

児童数の急増により教室が不足している学校があるが、学校の長寿命化を検討する際には、地域の人口調査や高層マンションの建設計画なども踏まえて評価しているのか。

【委員】

今回評価対象となっている牛込保健センターや牛込第一中学校の建替えの説明会の際には、人口推移も加味して計画していると説明があった。ただ、10年、20年先のことまで予測するのが難しいというのは地域も理解している。

【委員】

例えば子どもが集まる地域を目指すのであれば、学校を整備して子どもが集まりやすい環境をつくるように、まちづくりの方向性を目指すことが重要と感じる。

【部会長】

計画書には、生徒数の増減や人口動態を踏まえた学校施設の在り方についての記述があり、複合施設化や他用途への活用などの視点も含まれており、こうした重要な観点は計画に反映されていることが確認できる。

今回の評価では施設のメンテナンスや修繕工事が対象となるが、各地域がどのようなまちのビジョンを持って取り組んでいるかを、ヒアリングで確認することは重要と考える。

地域の変化予測については、学校など注目分野に絞って、行政がどのような見通しを持っているかを、地域のビジョンと併せて確認してはどうか。

地域変化の予測やビジョンとの関連では、学校関係が中心的なテーマになるかと思うが、橋や道路、公営住宅など、他にヒアリング時に確認してみたい分野はあるか。

計画事業 61 中長期修繕計画に基づく施設の維持保全

【委員】

区有施設の長寿命化の事業で、年度ごとの更新数は示されているが、全体を何年で更新するのかという見通しを知りたい。

また、新宿区は地域ごとに異なるまちづくりのテーマがあると思うので、施設整備にあたって、各地域の特性に沿ってどのような方針で取り組んでいるかを確認したい。

市ヶ谷商業高校跡地を複合施設として活用する計画は、今後のまちづくりの参考となる事例であり、こうした取組を他地域にも広げていくことが望ましいのではないか。

【委員】

区の総合計画の中で、出張所ごとに小さな区役所としての役割を持たせ、地域ごとの方針を定めてまちづくり計画を進めている。その説明をしてもらえば良いのでは。

これは 10 地区の地区協議会においてそれぞれ審議して決めたもので、その進捗を確認するのが一番適しているかと思う。（会議終盤に再度議論あり）

【委員】

区の施設はどこも駐輪場が少なく分かりづらいことから、自転車利用者にとって不便を感じる。区は徒歩での利用を前提としているのだろうか。

【委員】

地区協議会では生活課題の一つとして駐輪対策に取り組み、駐輪場所の不足を受けて新宿区に要望書を提出し、都営神楽坂駅近くに駐輪場を設置するなどの対応が実現したこともある。

【部会長】

施設の集約化・複合化にあたっては、住民のアクセス手段として徒歩や自転車も含めた生活者目線の利便性を考慮することが重要であり、特に駐輪場の確保などを含めて検討すべきである。今回の評価対象では、牛込保健センターや市ヶ谷商業高校の複合施設整備が該当するため、ヒアリングでこの視点を確認したい。

このような感じで、ヒアリングでは、計画事業の内容だけでなく、まちづくりの視点も含めて広く質問を行いたい。

例えば私は、本庁舎整備の検討の事業について、「まちづくりの視点を入れて」という記載の抽象度が高く分かりにくいと感じた。人の流れなどとの関係があると考えられるが、具体的な視点で確認したい。

【委員】

ヒアリングは評価対象事業の全所管部署に実施するのか、それとも絞るのか。

【事務局】

今日の議論及びその後に挙がった質問についての所管課を呼ぶ形となる。全部署揃うとは限らないが、最終的に挙がった質問によっては全部署となる可能性もある。

【委員】

新宿区の本庁舎のあり方検討会の報告書を見ると、他区の事例調査などが丁寧に行われている一方で、今後何十年先を見据えた新宿区役所のビジョンが読み取れず、その点について聞きたい。

【委員】

令和5年度に公表された「庁内の在り方庁内検討結果報告書」のp31では候補地が2つ（第二分庁舎及び旧四谷第五小学校・新宿ファーストウエスト）に絞られているのに、令和6年度に公表された「本庁舎整備検討調査業務報告書（概要版）」のp18では「本庁舎及び第一分庁舎」「旧淀橋第三小学校」が追加されているが、これはなぜか。

【部会長】

全体的な話となるが、内部評価シートでは、各年度の当初と末時点の記載内容が多くの事業でほぼ同じであり、記入方式の観点から改善の検討が必要ではないかと感じた。

そのうえで、年度末の課題欄では、事業の目的に関する記述が多く、実施を通じて見えてきた具体的な課題が示されていないため、実施上の課題を引き出したい。

例えば工事が想定外に滞った牛込保健センター建替えの事業で、資料では素直に計画以下と評価されているが、所管課がその経験からどのような課題を認識し、次年度にどう活かそうとしているのかが不明であり、同様の問題を防ぐための具体的な対応策をヒアリングで確認したい。

【委員】

同じような話で、経常事業665「区の公共施設の計画保全」では、受託者による施設内の点検に区施設管理者の協力が不可欠と課題が記載されているが、発注側の立入点検は当然のことと感じる。課題として挙げられている背景や具体的な困りごとがあるのかを確認したい。

【委員】

牛込保健センターの建替えでは工事の遅延が評価に反映されている一方、旧都立市ヶ谷商業高校跡地の事業では敷地確保の遅れによる工事延期が起きているにもかかわらず、「計画どおり」とされている。このような評価の違いは、事業ごとに切り離して考えるべきか。

【委員】

牛込保健センターの事業は、工事遅延により支払いが生じなかつたため経費が少ないとのことであった。今年度支払う予定の経費は既に予算化されていると思うが資料に反映されていないのはなぜか。

民間の感覚からすると引き渡しが遅れたら値引き対応などがある可能性もあるし、逆に旧都立市ヶ谷商業高校跡地の利用も予定より利用期間が延長して何か影響があるかもしれない。

【事務局】

牛込保健センターの工事における事故による影響および損害に対しどういった対応を求めているかという質問として承る。

経常事業 658 区立住宅の維持保全

【部会長】

西新宿コーポラスで入札不調が発生しているが、その原因や分析が資料に記載されておらず、応札がなかった理由や今後の対応について所管課に確認したい。こうした情報は本来、課題として明記されるべきである。

経常事業 665 区公共施設の計画保全

経常事業 666 土木アセットマネジメントシステムの運用

【委員】

経常事業 665 は建築系、666 は土木系のアセットマネジメントシステムと読み取れるが、両システムの違いや取組姿勢の違いについて確認したい。

【部会長】

この事業についてもう少し具体的な内容について教えてもらいたい。

また、「利活用」とはどのようなことを念頭に置いているのか説明が欲しい。

経常事業 659 道路の維持保全

【委員】

民間工事による歩道の補修後の管理が不十分なケースが見られるが、区が工事許可を出した後の管理体制はどうなっているのか。

【部会長】

埼玉で起きた道路陥没事故のような事例に対して、新宿区としてどのような取組を行っているのか。

計画事業 61 [再掲]計画事業 26 まちをつなぐ橋の整備

【委員】

区境に位置している橋について、他区との管理体制を確認したい。

計画事業 62 [再掲]計画事業 46 区有施設の照明設備 LED 化

【委員】

目標が「131 施設完了」となっているが、全量はいくつか。

計画事業 61 [再掲]計画事業 42 公園施設の計画的更新

【委員】

視察先の候補地になっている。課題感があれば行くべきでは。

【部会長】

確かに安全で快適な公園づくりができているかは、実際に見てみないと分からない。他に視察先の候補として何かあるか。

【委員】

候補にある牛込保健センター仮庁舎は、間もなく無くなるところ。そこを見るよりも、学校施設やスポーツ施設を見る方が今後の提案や改善に繋がるのでは。

【委員】

同意する。新施設を見られるなら期待が大きいが。

【委員】

であれば区役所における課題感などを見てみたい。庁舎のあり方検討事業も対象となっている。

【委員】

(賛同の声多数)

【部会長】

庁舎を視察することで委員の要望が一致した。

本年度は視察を実施する。今挙がった新たな候補（区役所庁舎）を第一候補とし、調整が困難だった場合は事務局が挙げていた候補を第二候補とする。

計画事業 62 旧都立市ヶ谷商業高等学校の将来活用

【委員】

令和6年度事業経費が35億3,161万円あるが、都から取得する土地費用が主と理解して良いか。その場合、価格の妥当性の判断はどのように行ったのか。

また、年度別計画に埋蔵文化財発掘調査があるが、これは文化財が埋まっていることは確定しているのか。

【事務局】

確定しているわけではないが、新たに建物を建てる際には基本的に調査を実施することになっている。

計画事業 61 区有施設等の長寿命化（中長期修繕計画に基づく施設の維持保全）

【委員】

男女共同参画推進センターについて、区民から寄贈されたので改修ができないと聞いたことがある。古くてエレベーターもないような施設だが、こうした古い区有施設も修繕計画の対象に含まれるのか。

【部会長】

公共施設等総合管理計画では、区が保有施設でサービスを提供する方法の可能性を検討すると記載されており、機能は維持しつつ、区がハードとして提供するかどうかは今後の検討課題としていると理解をしている。

今指摘の点についてもヒアリングで直接確認することとする。

【事務局】()

(計画事業 61 の質問事項とされた内容について) 説明すべき内容が広いため、どこに重点的にフォーカスして回答すればよいか教えてほしい。

【部会長】

もっともな指摘と感じるが、委員の皆さんには特に関心がある地域などあるか。

【委員】

エリアごとのまちづくりの方針を 10 地区分簡単に説明してもらえばそれで良いと感じる。

【委員】

私は歌舞伎町を含む新宿駅周辺地区のことを聞きたい。再開発が行われる一方、歌舞伎町はトータル問題などもあり、課題が多い地域だと思っている。

【部会長】

他に、人口動態の変動が特に大きいところなど何かあるか。

【委員】

富久町の環状四号線のように、行政の事業によって人口変動が起きることもあり、そういう場合は行政も予測ができるのでは。

【委員】

あそこは若松地域にある。

【部会長】

若松地域は関心が高い地域のようなので、2 か所目とする。

【委員】

エリアは区切った方がいいのか。エリアごとに簡単にまとめてもらったものを出張所単位に説明してもらい、必要に応じて踏み込んだ質問をする形で良いのでは。

【部会長】

まちづくりの方に話が広がりすぎても今回の評価対象テーマとの関連が見えにくくなる。話が膨らみすぎてしまう懸念がある。

【委員】

出張所ごとに、人口増加に応じての学校などの施設数や整備方針を簡潔に箇条書きで示す形が適切ではないか。

【事務局】

ヒアリング時には事前に各出張所から聞き取りした結果をまとめ共有する。

2 事務連絡（今後のスケジュールについて）

【事務局説明】

次の部会開催予定について共有

追加質問の受付について説明

<閉会>